

# 商品や制度について 理解を深めてもらうには？



わかりづらいことが多い投信の商品内容や課税制度。どんな説明をすればお客様は理解しやすいのか。

08 / 23

スムーズな商品選びにつながる説明の進め方

## 投信の大きな分類をお伝えし 興味がある投資対象を聞く

お客様に投資信託の説明を行う際には、まずは投資信託がどのような種類に大きく分けられるのか、**大まかな分類をお伝えするところから始める**とよいだろう。

具体的には、日本国内を投資対象とする投資信託、外国を投資対象とする投資信託、株式を投資対

象とする投資信託、債券を投資対象とする投資信託、といったようにだ。

言うまでもなく、債券に投資する投資信託では投資のリスクは比較的小さく、株式に投資する投資信託はリスクが大きいというように、投資対象によって投資信託の

リスクは異なる。お客様に個別の投資信託を選んでいただくにあたっては、まず、その点をご理解いただく必要があるからだ。

また、最初にこうした分類を示すことで、お客様が興味のある投資対象や、許容できるリスクについても早い段階で把握できる。

### 投資対象の選択に迷うお客様には バランス型を紹介

前述のような分類をご説明した結果、例えば、外国を投資対象とした投資信託に興味があるということであれば、**先進国か新興国か**

どちらに関心があるか、あるいはもっと具体的に、**どこか関心のある国や地域があるのか**を聞き出し、その国に投資している投資信託をご案内する。

また、例えば先進国に投資する投資信託と言っても、株式を投資対象としたものもあれば、債券や不動産を投資対象としたものもあるわけだから、どんなものに投資する投資信託があるのか、さらには、各投資対象の内容やリスクなどについて詳しく説明していくようにする。

例えば、株式を投資対象としている投資信託は、株式市場に上場